

# もくじ

飯島町の城館跡イメージ図	2・3
<b>田切城</b>	4
田切城 縄張り図	5
鱈口のナゾ・日方磐神社	6
月誉平	7
田切関所・関の地藏尊	8
<b>唐沢城</b>	9
唐沢城 縄張り図	10
唐沢氏・小泉氏・和鏡のナゾ	11
発掘調査でわかってきた中世の暮らしー食ー	12
<b>香坂氏の館</b>	13
<b>トヤゴ城</b>	14
トヤゴ城 縄張り図	15
<b>岩間城</b>	16
岩間狼煙台	17
岩間山城	18
岩間山城 縄張り図	19
岩間氏とは…	20

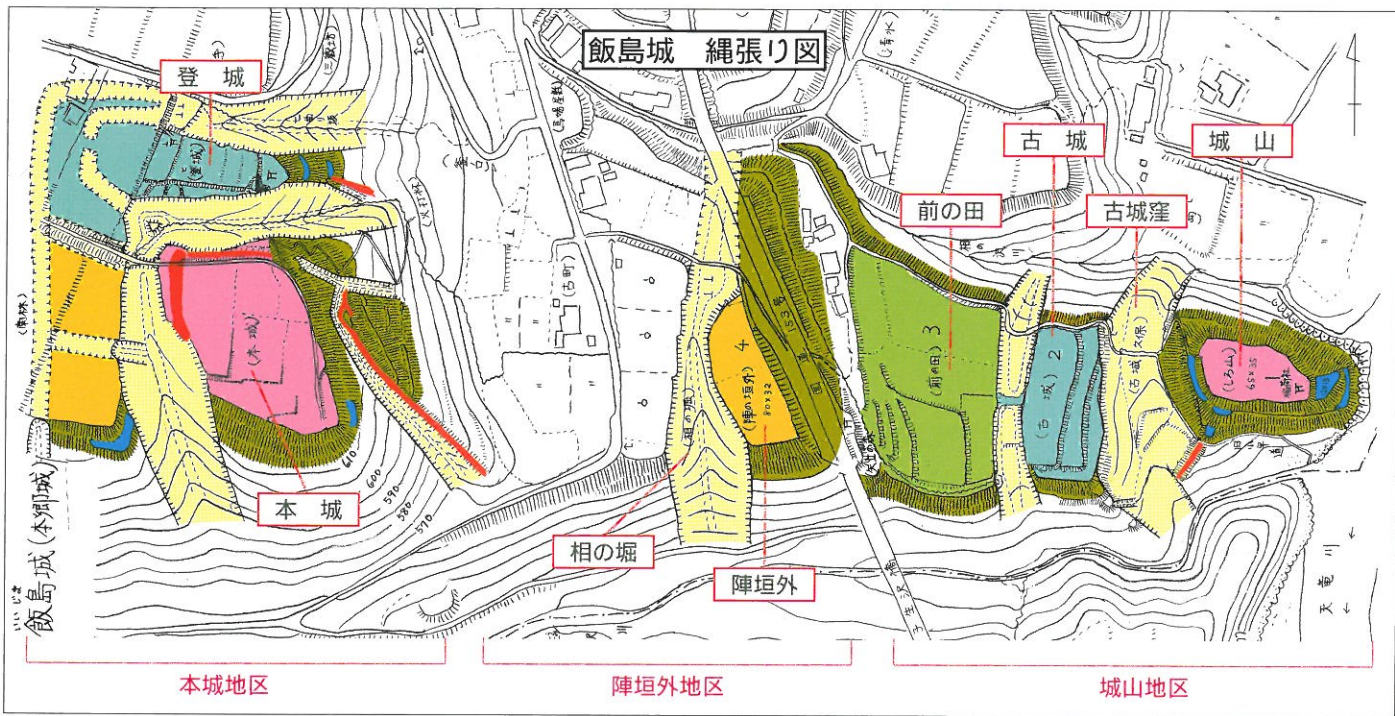
<b>北山城</b>	21
北山城 縄張り図	22
<b>飯島城</b>	23
飯島氏とは	25
飯島城(城山地区)	26
飯島城 縄張り図(城山地区)	27
飯島城(陣垣外地区)	28
飯島城 縄張り図と小字名(陣垣外地区)	29
飯島城(本城地区)	30
飯島城 縄張り図(本城地区)	31
若森の館	32
若森の五輪塔	33
竹ノ内の館・南羽場の館	34
西岸寺の梵鐘を鑄造～寺平遺跡～	35
飯島氏の菩提寺～西岸寺～	36

付録 はんどぶっくを10倍楽しむ方法	37～
--------------------	-----

# 飯島城 地図D-4

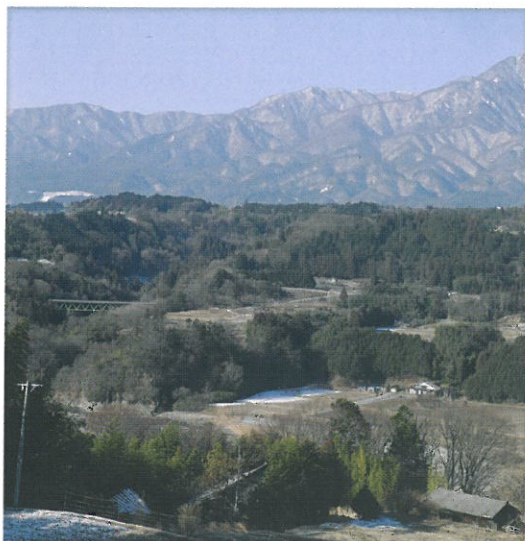
飯島城は、東西800mにわたる巨大な城です。このため本書では天竜川に近い「**城山地区**」、一段段丘を上った「**陣垣外地区**」、さらに段丘を上った「**本城地区**」に分けて記述します。伊那谷の天竜川沿いには、岩間山城のようないわゆる「山城」タイプではなく、「段丘の城」と言い表わせる城跡が多く残っています。飯島城は、その規模からいっても、伊那谷屈指の段丘の城と言えます。

■主郭 ■二郭 ■三郭 ■その他の郭 ■腰曲輪 ■堀 ■土塁 ■傾斜地



## 飯島城 (城山地区)

所在地	本郷424番地ほか(本郷第4)	行き方	もより駅：JR飯田線 伊那本郷駅下車2.5km 飯島駅よりタクシー10分 車の場合：国道153号線「本郷」の信号を東へ 旧道を南に向かい500m 道が細く駐車スペースがないため本郷公民館駐車場を利用 公民館から約1km
形状	連郭式 平山城		
城主	飯島氏		



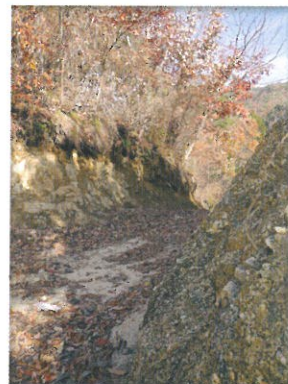
中川村から城山一帯を望む

前の田は南北140m、東西120mの方形で、西側は高さ20mの段丘崖で区画されています。前の田、古城が位置する同じ段丘面には「松葉の館」や「若森の館」があります。

城山地区の飯島城は、天竜川の支流である相の沢と子生沢によって区画された地域にあります。

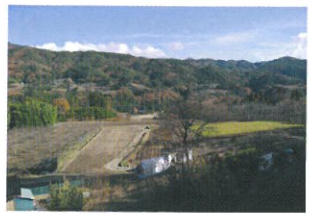
飯島城の最東端に位置する城山は天竜川に突出した小山となっています。頂上の東西70m、南北35mの平坦部が主郭で東端に稲荷社が祀られています。城山からは天竜川を挟み対岸の飯沼(中川村)を見渡すことができます。天竜川の断崖上に腰曲輪のあとがわずかに残っています。西側には幅2～3mの平坦地が取り巻き、ここを通過して南西隅から郭内に入ったと思われます。周辺に塹土塁の一部が残っています。

城山と古城の間には「古城窪」と呼ばれる上幅70m、深さ10m以上の大きな空堀があります。古城窪の西側に二郭である古城が、さらに空堀をはさんで三郭の前の田が位置しています。古城は南北90m、東西60mの長方形で、東側の傾斜地に腰曲輪が数段残っています。古城と前の田の間には上幅19mの堀が造られ、土橋でつながっています。

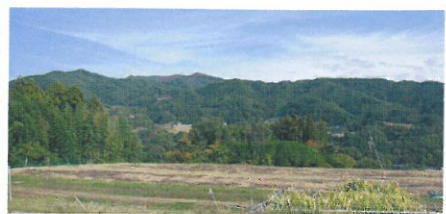


旧小平道





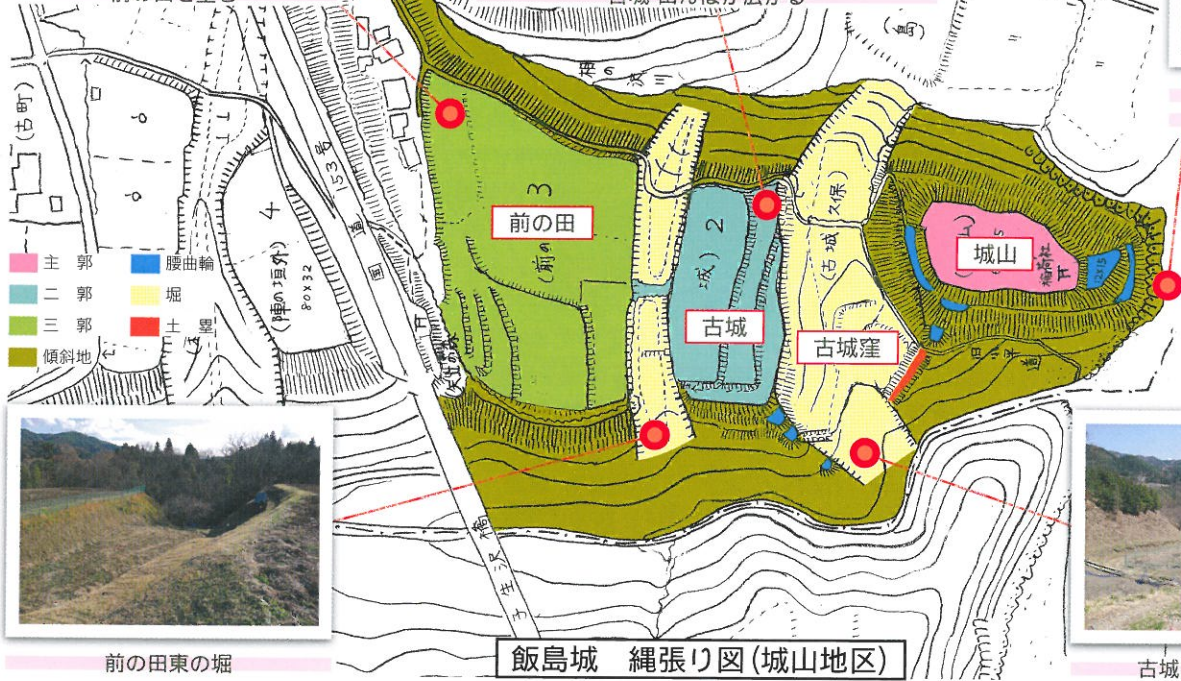
前の田を望む



古城 田んぼが広がる



城山の東には  
天竜川が流れる



前の田東の堀



古城窪 右手が古城

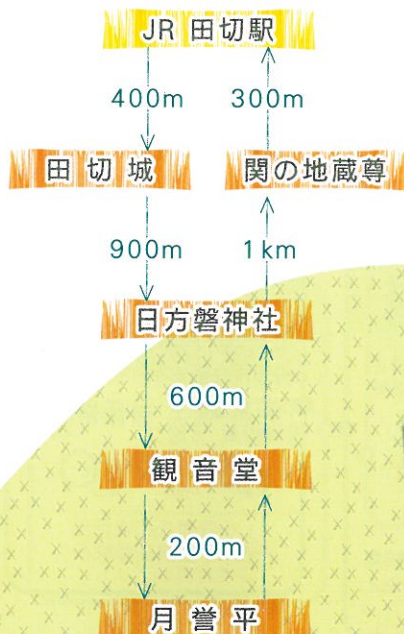
飯島城 縄張り図(城山地区)

# 付録

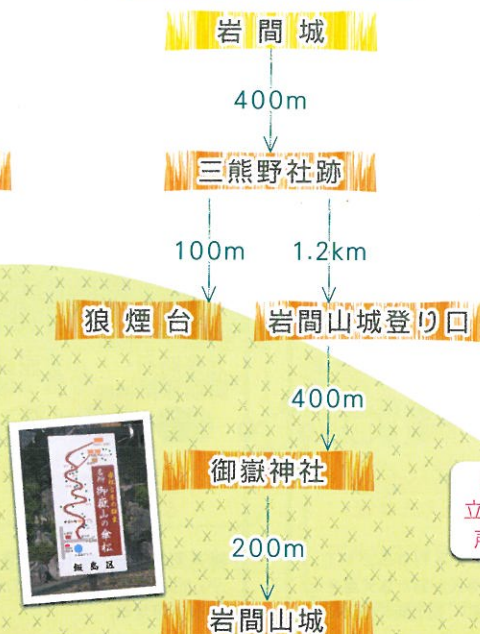
## 「飯島町の中世城館跡めぐりはんどぶっく」を10倍楽しむ方法

### その1: はんどぶっくを持って出かけよう!

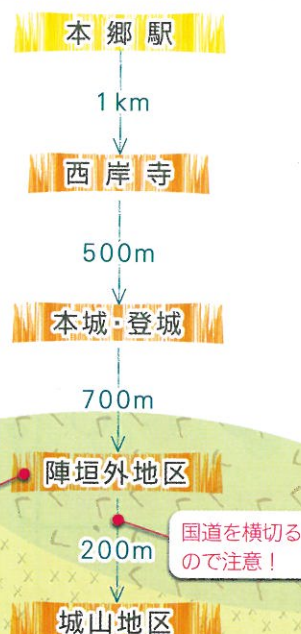
#### 田切地区のモデルコース



#### 岩間地区のモデルコース



#### 本郷地区のモデルコース



私有地へ  
立ち入る時は  
声をかけて

国道を横切る  
ので注意!